

第 141 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 29 年 2 月 16 日（木） 13：30～15：08

場 所：中央図書館 2 階多目的第 1 ホール

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長（欠席） 佐々木課長 森脇課長 岡田室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 村瀧室長

大崎分室長 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長（欠席）

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 教育委員と社会教育委員との意見交換について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

1 教育長報告

石本教育長

委員方には午前中の総合教育会議、先ほどの臨時会に引き続いてよろしくお願ひしたい。

① 1 月 29 日（日）第 27 回中学校柔道三隅大会（三隅中体育館）

三隅中学校の体育館で第 27 回中学校柔道三隅大会が開催された。私が大会長になっている関係で出席をした。従来この大会は釜山から安楽中学校という中学校のチームが来られるが、今年は学校行事の関係でどうしても日程が取れないということで、今回は欠席だった。

国内のチームだけで大会をしたが、中国 5 県はもとより、福岡県、大分県の中学校から色々なチームが来られた。男女合わせて 56 チーム、333 人の参加があり、盛大に開催をした。

② 1 月 29 日（日）第 59 回島根書初め展表彰式（サンマリン浜田）

第 59 回島根書初め展表彰式があった。委員方にも表彰式にご参加いただいた。

例年一般の部では学校の先生方が特別賞をもらうことが多いが、今年も旭小学校の樋野教頭が市長賞を受賞した。学校でももちろん子どもたちに習字を教えることもあるだろうが、五風の中で頑張っている先生方が多いと感じた。岡見小学校の岡本

教頭も受賞していた。

- ③ 1月31日(火) 五風会会長・故喜代吉鐵牛氏葬儀(典礼閣浜田会館)

五風会会長で長いこと市美展の実行委員や委員長を務めていただいた、喜代吉鐵牛さんがお亡くなりになって、31日に葬儀があったので市長と私が参列をさせていただいた。

- ④ 1月31日(火) JFAこころのプロジェクト『夢の教室』(原井小・松原小)

毎年あるが、日本サッカー協会が取り組んでいるこころのプロジェクト『夢の教室』ということで、原井小学校と松原小学校の5年生を対象に開催した。

今年の講師の先生は元プロキックボクシングの富平辰文さんという方で、アシスタントとして元プロサッカー選手の平間さんが来られて学校で実技とお話をされて、大変好評だったと聞いている。

- ⑤ 1月31日(火) 浜田市子ども・若者支援地域協議会研修会(中央図書館)

支援者を対象とした子ども・若者支援地域協議会の研修会があった。私は参加できなかったが、何名くらい参加があったか。

70名くらいの参加があった。今年は参加者が多く、他所からも来られた。

70名くらいの参加があり、研修会が開催されたということである。

- ⑥ 2月5日(日) 平成28年度人づくり・郷づくり交流会(いわみ〜る)

平成28年度人づくり・郷づくり交流会がいわみ〜るであった。昨年は開催しなかったが、平成26年度まで5カ年にわたって、各自治区を回って公民館の活動研修会の様なものをずっとやっていた。今回は公民館の職員方々、それからまちづくり推進委員会の方々にも参加いただいて、合同の形でこういった交流会を開催された。

いわみ〜るの体育館で265名の方が参加をされた。午後からは多少人数が減ってはいるが、それでも夕方4時過ぎまで熱心に色々な発表、それから対談、そういったものに参加をされていた。

- ⑦ 2月5日(日) 石見演劇フェスティバル(石央文化ホール)

長見所長

石本教育長

石見演劇フェスティバルが石央文化ホールで開催された。私は行けなかったが、800名の入場者があったということである。800名ということは1階は満杯ということなので、大変賑わったということである。

資料にある様に、ウラジオストクにある極東国立芸術大学演劇部が公演をされている。これは一昨年、浜田にNPO法人で創作てんからっとという演劇の集団があるが、岩町先生が色々ご指導をされていて、その創作てんからっとというサークルがウラジオストクに行って公演をしている。そのお返しということで来ていただいたが、なぜそのてんからっとがウラジオストクで演劇をしたかという、島村抱月さんが中心になって作られた芸術座というものがあるが、その芸術座の方々がロシアに行かれて演劇をされて100周年ということで浜田の方が行かれたということで、そのお返しで来ておられた。

夜にロシアの方々の歓迎会があり、それには私も参加をさせて頂いていただいた。

⑧ 2月6日（月）第16回全国小学生雪合戦大会出場報告・市長表敬（庁議室）

小学生雪合戦大会出場報告ということで、今市小学校の児童の方々が市長のところに来られた。先ほど追加で資料が配られたが、16回の大会で3回目の準優勝ということで素晴らしい成績を挙げているが、最後サッカーでいうとPKの様なもので負けたということで、あと一步、あと半歩で優勝できるところまで行って、力を付けた様である。来年以降も頑張ってもらいたいと思う。

⑨ 2月10日（金）浜田市学校給食審議会（議会第4委員会室）

久しぶりに学校給食審議会を開催した。審議会なので基本的には教育委員会からこういうことについて審議をしてほしいと諮問があつて、はじめて開催されるということが建前だが、ここ6、7年開いていなかったもので、そういった審議をお願いすることがなくても学校給食の現状をお話して意見をいただくということも大切であろうということで審議事項はなかったが、そういった現状を報告する会を2月10日に開催した。

⑩ 2月12日（日）（仮称）浜田歴史資料館説明会（午前：市役所講堂、午後：浜田公民館）

浜田歴史資料館の説明会を午前市役所講堂で、午後からは

浜田公民館で開催した。

午後から開催予定だったが急遽午前中にしたので、間違えて昼から来られる方もおられるだろうということで、2回の体制をとってやったが、午前中が151名、午後からは間違えた人は少なくても11名しか来られなかったが、来られた方を対象に行った。

⑩ 2月12日(日)女性の生き方を考える集い(ジョイプラザ)

女性の生き方を考える集いということで、県知事も来られて、国の内閣府の方もお見えになった。この方は市長と35年来の友人だということをお話されていたが、そういった方が来られて集いを開催した。

私は歴史資料館説明会に出席しており、行くはずだったが残念ながら欠席した。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

2月15日の第4回地元県議協議会が全協室であったが、県議3名が出席されて、議会の関係か。

石本教育長

地元県議協議会というのは地元の3人の県議とそれから県の事務所の所長方がお見えになった。会の趣旨は、県議会が始まる前に、市がこういった状態になっているので県議会ですらそういったことを取り上げてください、といったお願いをしたり、浜田の現状について県議に知ってもらい県議会に臨んでもらうといった様な会議である。

年に4回県議会があるので、議会の前に必ずある会議である。

教育の関係はあまり議題になることはないが、地域振興や今回の米軍機の騒音のことはかなり話題になっている。

この会でも歴史資料館はぜひ造りたいと市長がお話を県議にされた。

藤本委員

2月10日に学校給食審議会を開催し、現状報告をしたということだが、学校給食の審議会というものがあるのか。

石本教育長

そうである。市の附属機関としてあり、学校給食に関する重要なことはそこで話をするということになっている。

実は統合のこともずっと平成22年頃から話題に挙がっていたので、この審議会でも諮ることも検討していたのだろうが中々調整

藤本委員 石本教育長	<p>が難しいところがあり、この審議会では諮っていない。その他のあり方についてもお話をしていなかったので、今地産地消や食育について一生懸命頑張っているの、その辺の現状を委員方に知っていただくということで開催をした。</p> <p>審議委員がおられるということか。</p> <p>そうである。2年任期でずっと今までも会議がなくても必ず2年間おられた。年度ごとに委嘱をしていたが、会議が今までなかったということである。</p>
藤本委員 石本教育長	<p>その審議委員は私たちは知らないか。</p> <p>審議委員はほぼ充て職の様な感じで、校長会の会長やPTA連合会の母親委員長である。</p>
佐々木課長 石本教育長	<p>他に学校の養護教諭の先生が2人。</p> <p>養護教諭もおられて、それから保健所の衛生関係の担当課長もおられる。あと自治区代表もいる。</p>
佐々木課長 石本教育長 各委員	<p>自治区代表はそれぞれおられて、その辺はまちまちである。</p> <p>その他よろしいか。</p> <p>特になし。</p>

2 議題

(1) 教育委員と社会教育委員との意見交換について（資料1）

山根課長	<p>昨年は3月10日に教育委員方と社会教育委員の意見交換ということでお願いをして開催をしていただいた。</p> <p>今年度においては28年、29年の任期ということで新規の6人の委員方と継続で7人の委員方の13人で、今年度については前半で家庭教育の支援、それから後半で浜田市中央図書館の運営について協議・研究をしてきていただいた。</p> <p>この結果に基づいて教育委員方と意見交換会を開催していただきたいというものである。</p> <p>時期については3月中旬から下旬を考えている。内容は後半でまとめていただいた浜田市立中央図書館の運営に関する意見集約、これが間もなくできあがる予定となっている。こちらの説明をさせていただいて、委員方のご意見をお聞きしたいと思う。</p> <p>また合わせて社会教育全般のご意見もいただきたいと考えている。</p> <p>一応社会教育委員13人全員が出席予定である。</p>
石本教育長	<p>意見交換開催について提案があった。実施希望時期については</p>

山根課長	3月中旬から下旬ということである。配ってあるこの紙か。
石本教育長	はい。予定としてこの3日間の時間帯のどちらかでご都合の良い日で設定できればと考えている。
各委員	まず、社会教育委員とこういった意見交換の会を持つということとはよろしいか。例年やっていることだが。
石本教育長	全会一致で承認 では実施とする。予定されている3日間の日程だが、宇津委員はどうか。
宇津委員	全て大丈夫である。
石本教育長	花田委員は。
花田委員	17日の13時と24日は無理である。
石本教育長	藤本委員は。
藤本委員	全て大丈夫である。
石本教育長	金本委員は。
金本委員	全て大丈夫である。
藤本委員	17日は小学校の卒業式が午前中にある。
石本教育長	16日も幼稚園と雲城小学校が卒業式である。 それでは16日で考えて、卒業式が終わってから。幼稚園の卒業式は9時半に始まって10時半には終わる。 場所はどこか。
山根課長	場所はまだ決まっていない。図書館か浜田公民館か。
石本教育長	公民館は2部屋くらい借りないと狭いかもしれない。図書館が一番良いかもしれない。
山根課長	承知した。
石本教育長	16日が委員方の都合が良いので16日にしようと思うが、午前中が終わってすぐ13時からした方があとが使いやすいのか、少し間を空けて15時半からやった方が良いのか、その辺のご意見をお聞かせいただきたい。
花田委員	13時からを13時半くらいにはできないか。それなら整うかと思う。
石本教育長	13時半でも良いか。
山根課長	大丈夫である。
石本教育長	それでは16日(木)13時半からとする。 生涯学習課はそれで準備をよろしく願いたい。 会場を押さえてほしい。
山根課長	はい。

石本教育長	意見交換の内容については資料にある様に中央図書館の運営に関する意見集約について説明を受けて意見交換をするということと、社会教育全般にわたる意見交換ということである。 これは1時間半で大丈夫か。
山根課長	1時間半から2時間くらいを予定している。
石本教育長	それでは13時半から2時間くらいあるかもしれない。
金本委員	3月初旬に意見集約ができたならもらえるのか。
山根課長	図書館の意見集約は間もなくできるので、でき次第送らせていただく。
石本教育長	それでは事前配布をよろしくお願ひしたい。
山根課長	はい。
石本教育長	資料については事前に委員方に配布をするということでもよろしくお願ひしたい。この件についてはよろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	それでは資料1にある様な予定で実施をするということで、3月16日(木)13時半から2時間程度予定しておいてほしい。 場所については、またご連絡させていただく。

3 部長・課長等報告事項

山本部長 (代理:佐々木課長)	平成29年度教育方針(資料2) 平成29年度の教育方針を作成したので報告させていただく。前回委員方からもご意見をいただいて、最終的にこの形に仕上がった。若干直したところを説明させていただく。 2ページ目の下から4行目、「人権尊重のまちづくり」といった文言を入れた方がよいということで、このページにはこの言葉が入っている。 次の3ページの真ん中あたり、教育委員会ではと書いてあるその後2つ下、ここのところでアクティブラーニングの視点を述べるべきだということで、「主体的・協働的に解決する力の育成を図り」といった文言を加えている。 次に4ページ目の下から6行目、いじめ問題のところだが、「いじめは人の尊厳に関わる問題」という表現を加えて文章を整えている。 次に5ページの上から3行目、ここで学校支援のことについて表現がないので入れた方がよいということで、支援員だけ入れるのはどうかということがあり、長い文章になったが、にこ
--------------------	--

サポのことや学校支援員、そういった表現を加えさせていただいた。

同じページの下から5行目、幼児教育について何もないということで、3行だが幼児教育について触れさせていただいている。

6ページの上、社会教育のところでは公民館の関係。ここでは公民館が主体的に取り組むこと、あるいは公民館が社会教育活動の拠点であって、さらに加えて地域づくりを担うのだという表現に改めるということで、ここは文言の整理を全体的にさせていただいて、最終的にこの形にまとめさせていただいた。

7ページの下から3行目、青少年の健全育成だが、「若者の心に寄り添う」という表現を加えさせていただいている。

最後8ページだが、芸術文化のところの4行目、石中央文化ホールについての具体的な改修の中身を入れるということで、映像、音響とかトイレ、こういった改修をするといったことを具体的に入れ込んでいる。

文化財については、委員方から注文があったわけではないが市長部局とも相談をしながら、歴史資料館については表現なり文章全体の構成をし直して最終的にこの形にまとめさせていただいたということである。

簡単だが教育方針については以上である。

平成29年3月浜田市議会定例会 提出議題（資料3）

3月議会で提案をする議題について2点ほど掲載をしている。

1つ目は、前回スポーツ施設の一元化ということで資料で説明させていただいたが、それに伴う条例の制定ということで、それぞれの部署が所管しているスポーツ関係施設については生涯学習課で一元化して管理するというので条例改正を行うものである。

2点目の弥栄運動広場施設条例について。概要にもある浜田市運動広場施設条例、この中にいくつか運動広場が入っているが、弥栄についてはこの中から取り出して単独で弥栄運動広場施設条例を新たに定めるということで、この2点を今回の議題として提案する予定としている。

平成29年度当初予算説明資料（資料4）

資料4が来年度の当初予算となっており、続いて資料5が今

小林係長

年度のいわゆる3月の補正予算の説明資料となっている。

これについてまず前段で全体的な概略を説明させていただく。そのあと個別に各部署の新規や拡充の主なものについて個別にまた説明をさせていただく。

それではまず資料4の平成29年度当初予算説明資料をご覧ください。私からは概略を説明させていただき、個別事業については各課長から説明していただく予定としている。

225ページの教育費と書いてあるところに28億円とあるが、これは前年度でいうと28億2千万円だったので、約2千万円の減ということになっている。実際には中身はまた後程説明があるが、例えば民生費から私立の幼稚園の施設給付費というものが8千万円くらい教育費に移行するという様な機械的な増減もあり、昨年度比でいうと実質約1億円の減少ということになっている。前前年度辺りは学校改築があつたりして40億円を超過していたが、そういった大型投資がなくなり、28億円、20億円後半台で推移しているという状況である。

主な増減のもので、増でいうと先ほど説明した私立幼稚園の施設給付費が8千万円超増えている。教育方針でも述べたが、文化ホールの大規模改修が来年度一定期間休館をして大幅な改修を行うということもあり、事業費としては1億円の増となっている。そういったものが増としては大きな要因となっている。

減の要因として1番大きいのが弥栄小学校の体育館の改築が終了して、これが約2億円減少となっている。そういった投資、それ以外の公民館改修の関係などで減少もあり、トータルでいうと約1億円、実質的に2千万円の減という形になっている。

先般の定例教育委員会の中で市長査定前の事業概要や新規の取組についてご説明したが、最終的に市長査定をして、今日の総合教育会議の中でもあつたが、親学の関係についての事業費などは0査定となっており、若干の変動があつた。そういった変動もあつたので、改めて今回のこの予算説明資料をご覧ください。内容のご確認をいただけたらと思う。

佐々木課長

それでは29年度の当初予算について各部署から、全部を説明すると長くなるので新規事業あるいは新規の取組、重要な事業や予算の増減が大きい事業等について説明をさせていただく。最初に教育総務課から説明をさせていただく。

資料 228 ページをご覧ください。整理番号が左端にあるが、671 番の奨学金貸与事業である。この予算が前年に比べると 100 万円余り減っている。これは対象人数は変わらないが、要は継続の方が減るためである。いわゆる貸与が終わって、今度返還する方が増えてきており、そういった形で最終的には減になっているが内容についてはこれまでと同じである。

続いて 229 ページの 674 番、嘱託職員報酬等（学校施設）について。こちらも 1 千万円余り増になっているが、実は市役所は正規職員が退職した場合に事務職員であれば 3 割採用とか、あるいは現業職員については退職不補充制度といった方針がある。主な内容の 2 段目に嘱託用務員というところがあるが、用務員の正規の職員が何人か退職されるということで、今回正規の後に嘱託職員が入るので、そういった形で何人か人数が増えるということで増額という形になっている。

次の 675 番、学校施設エアコン整備事業について。総合教育会議でもあったが、学校の図書館については全小中学校整備をしようということで、来年度波佐小学校の学校図書館のエアコンを整備すると、市内の全小中学校の図書館のエアコンの整備が終わる。まだ校長室に付いていないところが 4 校あるが、来年度はとりあえず石見小学校と雲雀丘小学校の 2 校の校長室にエアコンを整備する予定としている。

230 ページの 677 番、学校施設非構造部材耐震化事業について。これは 0 になっているが、実は今年度補正予算で挙げており、事業として来年度に繰り越して行うということにしている。これは体育施設の吊り天井の落下防止対策工事になる。今年度予算化したのは原井小学校の体育館で、これは来年度に繰り越して事業を行う。予算的にはこのあとの補正のところで出てくるが、3 千万円余りの事業費である。

679 番の学校施設長寿命化計画策定事業について、新規事業となっている。これについては資料の後ろ、286 ページをご覧ください。新規事業実施に伴う説明シート、事業の詳しい内容が出ている。これは実は国からいわゆるインフラについては長寿命化を図る方針を出されている。当然すべての施設がそうであるが、文科省についても、学校施設についても長寿命化を検討しなさいという通知が出されている。浜田の学校はほとんど古いが、それぞれについて長寿命化計画を策定するという

ものである。来年度の予算についてはその計画を立てる前のいわゆる実情の検査、診断、状況把握の調査費ということで今回予算を挙げている。

次に 234 ページの 694 番、小学校管理運営費について。新規であるが、プレハブ教室のリース料、今福小学校が来年から複式学級解消で教室数が増える。これに伴って部屋が足りなくなるということで、一応平成 30 年度と 31 年度の 2 年間、部屋が足りなくなるということで、来年度末このリースを設置して対応したいということで予算を挙げている。

次の 695 番、小学校施設改修事業について。主な内容のところに黒板取替とあるが、これはふるさと応援基金の活用ということで金額にして約 1 千万円。今のところ小学校の黒板を取り替えることを想定している。まだ詳細にどの小学校のどの教室のということは決まっていないが、基本的には小学校の黒板を取り替えることの計画を考えている。

次に 240 ページの 716 番、先ほどあったが私立幼稚園の保育事業ということで、今年度までは子育て支援課に予算組がしてあったが、幼稚園に関わる部分については教育の予算に組み替えをされたということで、全体で 8 千万円余りが挙がっている。

最後に 224 ページ、これは消防費に組んである事業である。ご承知のとおり上府小学校が廃校になったが、上府コミュニティ防災センター整備事業というものがある。

元々上府小学校の体育館の上に自治公民館があったということで、今回建て替えの経費で解体したところに新しく上府地区に自治公民館と合わせて消防倉庫を併設して、コミュニティ防災センターという形で移転新築を計画している。今土地の造成や解体をしていただいて、来年度は建物を整備するといった内容である。

227 ページ、665 番のスクールバス運行事業について。これは今年の実績に応じて若干の減額をさせていただいた。

次に 228 ページの 669 番、教育用ネットワーク整備事業を行っている。タブレットを配置したが、ウイルスソフトの強化等を行いながらやっていきたいと考えている。

次の 670 番、派遣指導主事負担金について。ここでは引き続き 3 名の派遣指導主事に来ていただき、学力向上、学校支援体制の充実に努めたいと思っている。

森脇課長

次に 232 ページの 684 番、学校支援員配置事業について。特別な支援の必要な生徒の支援を行っていくが、これに加えて県大生、今学力向上のための放課後学習に行ってもらっているが、場所によっては県大生が車を持っていないとかいった事情で放課後学習の支援できないところについて、支援員にお手伝いをいただいて放課後学習を支援していきたいと考えている。

次に 685 番の問題行動・いじめ等指導相談事業について。今嘱託指導員が 1 名いるが、勤務時間を拡充して問題行動・いじめ等の指導を行いたいと思っている。

次の 686 番の学校司書等配置事業について、引き続き司書を配置して図書館や調べ学習等を支援していきたいと考えている。

次の 233 ページの 689 番、特別支援・指導推進事業について。嘱託の特別支援教育専任職員が今は欠員になっているが、来年は時間を拡充して特別支援の色々な学校訪問等を充実したいと考えている。

次に 235 ページの 697 番、小学校教育振興運営費について。ふるさと応援基金等を活用して学校図書の実を引き続き行いたいと思っている。また、ポプラディアネット使用料を 120 ライセンス取得して、ポプラディアという百科事典をタブレットで使える様にライセンスを取得したいと考えている。

236 ページの 701 番、特色ある学校づくり事業について。学校の裁量によって色々な授業をしていただくということで、引き続き行いたいと考えている。

237 ページの 707 番、中学校教育振興運営費について。学校図書の実をふるさと応援基金等を活用して引き続き行っていきたいと考えている。

239 ページの 713 番、特色ある学校づくり事業について。中学校においても学校の創意工夫を活かした授業を行えるように支援を行っていきたいと考えている。

233 ページの 691 番、学力向上総合対策事業について。この中の拡充というところで、教員の授業力向上（コアティーチャー育成等）については同様だが、算数・数学の専門家派遣事業を新規で入れている。小学校と中学校にできれば入りたいと考えている。教育アドバイザーに来ていただいて、学校の算数・数学の課題について解決をしていくといった授業である。

岡田室長

山根課長

それから支援体制については嘱託職員を今年度は国語と算数2人ということにして、課題のある国語と算数を強化していきたいと考えている。

社会教育について説明させていただく。

240 ページの 719 番、社会教育総務事務費について。新規に社会教育主事派遣教育活動交付金とあるが、社会教育主事の資格の取得の研修を受けられた先生が学校現場において勉強されたことを学校の中での活動をしていただくということで、これは県からの交付金が全額下りる事業である。1人当たり2万円なので、多いかもしれないが、5人分ということで計上している。

241 ページの 721 番、公民館管理運営費について。公民館館長、公民館主事等の人件費の増である。それから光熱水費、委託料等を精査した関係で60万円くらいの減となっている。

242 ページの 723 番、公民館施設改修事業について。これについては29年度において、27年度に石見公民館細谷分館を新築して、前の細谷分館の解体工事と外構工事、整備の工事が入っている。

その他金城、三隅の公民館それぞれの改修が入っている。

244 ページの 730 番、成人式開催事業については内容を精査して減額となっている。

下の 731 番、地域ぐるみの子育ち推進事業について。これはコーディネーター等の謝金の単価の増、それから放課後子ども教室を実際に精査した関係で相殺、調整をして減額となっている。

245 ページの 733 番、土曜学習支援事業について。今年度、今月においても土曜日の午後開催ということをしているが、来年度においては今まで午前中が出にくいということもあったので、午後の開催、あるいは長期休暇中の開催等も検討をしている。

734 番のふるさと郷育推進事業について。拡充のところである。自然体験活動のところ幼稚園が今年度1園あたり5万円だったが、単価見直しということで10万円に増額している。

Hamada マリン郷育プロジェクトは継続事業だが、今年度事業費全体で比べると今年度より半額くらいになっているが、継続して実施していく。

島田館長

新規のところだが、27年度に浜田市の人物読本「ふるさとの50人」を作成した。第2弾ということではないが、浜田の歴史ということで副読本の作成に取り掛かる。

255 ページの 765 番、スポーツ推進審議会費について。現在スポーツ施設の配置について協議等行っているが、今年度中に結論が出ないということであれば引き続き継続の審議を行っていただく予定としている。

下の 766 番、社会体育推進事業について。拡充である。雪合戦記念大会が第 20 回ということで、補助金が 200 万円ほど上乘せになっている。

256 ページの 771 番、島根県立体育館 40 周年記念事業について。記念事業を開催するにあたり、日本体育大学の優秀選手を招聘して演技会を行う予定をしているので、これに対して市から 20 万円ほど支援するということが計上している。

257 ページの 773 番、運動施設管理費について。所管換えを他部局、部内から行ったということで管理費を集中させている。サンマリン浜田と三隅中央会館、三隅中央公園、田の浦公園、岡見地区スポーツセンターを管理費に一緒にしている。

258 ページの 775 番、運動施設改修事業について。ふれあいジム・かなぎが浄化槽であるところを、農業集落排水接続工事を行う工事費と旭市民体育館のトイレ改修工事。それから三隅中央公園の陸上競技場の天然芝改修・フェンス設置工事を計上している。

それから 259 ページの 781 番、旭公園運動施設管理費について。所管換えで事業費をこちらへ計上している。

図書館から報告である。

243 ページの 726 番、図書館管理運営費について。中央図書館と 4 分館も含めて計上している。建物の維持・管理に必要な経費、職員の人件費については減額することができなかったため、図書購入費の部分を減額させていただいた。減額したのは中央、弥栄、三隅である。中央は 131 万円の減、その結果 1,121 万円の購入費とした。弥栄図書館は 9 万円減の 46 万円。三隅は 18 万円減の 92 万円。金城と旭については減額なしでそれぞれ 55 万円の購入費となっている。

実施する行事等については今年度とほぼ同じ内容の開催の目途がついているので、運営については司書資格を持った嘱託

長見所長

4名、それと必ずしも資格の必要ないパート職員17名の今年度と同じ人員構成で運営にあたっていきたいと思っている。

本の貸出冊数が減るのではないかと考えていたが、今年度はこのままいくと中央図書館は大体7%くらい増加になるのではないかと考えている。分館についても特に金城図書館が移転して、その効果なのか分析できていないが、昨年度に比べて今年は20%くらいの非常に高い伸びを示している。他の3分館についても昨年を上回る程度の実績となる見込みになってきている。

青少年サポートセンターについて251ページをご覧ください。

753番の青少年自立支援事業だが、事業の内容について変更はない。縮減となっているが、青少年サポートセンターが京町から今年度に今の旧警察署に移転して、その段階ではまだ賃借料が発生しているが、来年度になると建物を市が取得する予定なので、その辺の関係で賃借料等が減額になっている。

次に754番、青少年健全育成事業について。拡充となっている。浜田市PTA連合会が毎年市のPTA連合会として研修会をやっているが、今年度それを県の大会として地元で開催されるので、その部分20万円超が増額になっている。

渡邊課長

文化振興課から説明させていただく。

247ページの739番、石央文化ホール管理事業について。昨年度より500万円超増額している。近年石央文化ホールの貸館事業が特に興業等の減少で収入が1千万円か1千5百万円程度毎年、5年、10年前と比べると減ということで厳しい状況である。その点を今回配慮して、減少に見合う分を増額としている。

次に248ページの745番、石央文化ホール改修事業について。先ほど話があった様に今回継続して、平成26年度から年次計画的に改修を行っている。その中の29年度が一番中核という改修を行う。内容は空調及び防水、舞台上の緞帳、照明バトン、舞台照明。あと全館トイレの改修。和式から洋式に改修を行うものである。

特にこの中でトイレについては開館当時から和式ばかりだということでもずっと苦情があったので、やっと今回改修を行うということと、舞台上の装置だが、これはかなりそれぞれ高額なものである。使えるのは使えるが、業者からはいつ使えなく

なってもおかしくない状態であると。耐用年数はもう過ぎているということなので、今回この際変えるということである。

特にトイレ改修があるので、休館をせざるを得ないということで、今年の12月11日から3月9日まで3か月間休館をする予定にしている。これについては予約される方等に対応は行っている。なるべく例年催し物が少ない時期ということで、行っている。ただ成人式が1月3日にあるので、ここだけは工事の関係と調整して準備と当日は特別に開館するという計画にしている。

また、3か月分の収入の補償金ということで3,263千円を計上している。

続いて249ページの747番、浜田開府400年記念プレイベント開催事業について。今回で3弾目ということで、去年は浜田藩と各地域との交流というテーマを設けた。今回は港町浜田の政治と展開という浜田の港をテーマとして、色々と掘り下げて皆さんに理解をしてもらう様な講演にしたいということで考えている。

予算は、去年は交流ということでかなり多くの人を招いたので多かったが、今年は50万円くらいの減ということである。

続いて新規事業の748番、(仮称)浜田歴史資料館整備事業について。歴史館のハードについての予算ということで、内容は、新年度の29年度から地盤調査、御便殿の改修、トータルで33年までになる。5,100万円の中身については289ページの新規の説明シートに詳しく載っているが、説明シートの真ん中あたりに今後の執行スケジュールとある。平成29年度は調査設計と展示ソフトということで、設計については基本設計を考えている。30年度には実施設計を行っていきたいと考えており、まず調査、展示ソフトをどういったものにするか、かなり大きな中身なので、これも委託をして検討していくというものの費用である。

この予算が通ったら文化振興課の中に専門の建設に関わる部署を設置する様な予定にしている。

続いて250ページの749番、世界こども美術館創作活動管理事業について。これが1,300万円の減額になっている。両美術館のあり方検討、経費削減ということを行革の中でも検討しており、6年前に財源55億円計画で1千万円減ということにして

いた。昨年1千万円復活したが、やはり両美術館の負担が大き
いということで、今回は両美術館とも協議をして1,300万円の
予算減でなんとか来年度以降やってもらうということにして
いる。ただ、知恵を絞りながら、特にこども美術館等は補助金
の事業等を活用してなるべく来館者数とか事業運営に影響の
ない様に、ぎりぎりのところで調整をしていただくということ
にしている。

750番の石正美術館についても、約1,200万円の減になって
いる。こちらについても同じであり、かなりの減になるが、美
術館とも協議をしてこういった調整を行った。

751番の美術館絵画収蔵事業について。昨年が200万円とい
うことで増えているが、これは5年に1回石正美術館でくん蒸
の業務委託があり、それが今回は増えたということで増になっ
ている。

村瀧室長

人権同和教育室から。

243ページの727番、人権教育推進事業について。今年度よ
り21万6千円の減となっているが、全体的な予算の縮減とい
うことで、事業費を精査して消耗品、バスの借上げ料等の減額
により予算の縮減を図ったものである。

森脇課長

学校教育課から補足である。

231ページの682番、教育活動研究事業について。この中の
中段、新規で全国中学校体操大会関係経費ということで、平成
30年に開催される体操大会の準備のために実行委員会の負担
金と嘱託職員1名の雇用ということで311万6千円を新規で舉
げている。

小林係長

平成28年度3月補正予算説明資料（資料5）

平成28年度3月補正予算の説明をさせていただく。18ペー
ジの下段、教育費からが該当となってくる。

今回の補正については基本的には事業費の減ということで、
不用額の補正がほとんどとなる。ただもう1つ特徴的なことと
して資料25ページをご覧ください。ふるさと寄附充当事業一
覧とある。今浜田市はふるさと寄附を大変多くいただいで
いるが、その財源を活かした財政運営をしようということがあ
り、そういった基金を充当するのに、事業の不用額以外にたく
さん載ってきているものである。

これは基本的に財政運営上の話が大半になるので、実際には

ほとんど関係ないが、例えば 25 ページの事業一覧に行革効果分と書いてあるが、要は一般財源、税を使わずにふるさと寄附金を財源にするということである。いわゆる行革のために基金を充てるといふ少し贅沢な使い方しているものになる。そういったものを 25、26 ページに掲載している。例えばスクールバス運行事業も含めて大体 1 億 1 千万円くらい、28 年度予算で 1 億円超のところが行革効果ということで財源を充てられている。

これ自体事業の運営や執行に直接関係するものではなく、税であろうとふるさと基金であろうと何ら変わりのない行革のみの観点の充当が 1 億円超あるということである。

直接的なもので関係するのは中段の予算充実分であり、教育委員会でいうとふるさと郷育推進事業がこれで予算を上乗せして事業実施をするといったことで、こういったものについては影響してくるというものである。

参考に当初予算計上分とあるが、こういったものは例えば寄附された方の意向により中学校教育振興運営費、中学校の道徳教育に活かしてほしいという寄附者の意向で図書購入費なども入っている。図書館管理運営費についても寄附者の意向で図書関係、備品も含めた図書館経費の充実に努めてもらえたらということで、意向に沿って事業充当をしていくというものである。

こういったふるさと寄附の充当というものがあるので、対象になる事業費がたくさんあるというものになっている。

その中で 19 ページの 190 番、学校施設非構造部耐震化事業について先ほども当初予算のところの説明があったが、これが前倒しで実施をするということで補正予算を挙げている。今回の補正については工事費が増となったことに伴い補正で増額するといった内容になっている。

続いて 22 ページの繰越明許費補正ということで、これは 28 年度中の事業が終わらないものについて 29 年度に予算を繰り越して行うというものである。教育委員会関係の事業でいうと、追加にある消防費の上府コミュニティ防災センター整備事業の用地取得の関係が若干遅れており、来年度に繰り越す。

変更として先ほどの国補正の関係で、非構造部材耐震化事業費についても基本的には 29 年度実施となっているので、予算

佐々木課長	<p>を繰り越すといった手続きをしている。 補正予算については以上である。 行事等予定表（資料 6）</p>
	<p>行事等予定表の報告である。行事としては 3 月に入って卒業式が入ってくるので、そうしたことでまた委員方をお願いをすることが多いだろうと思っている。 3 月末には教職員退職・辞令交付式があるので、またご案内させていただく。</p>
石本教育長	<p>続けてもらおうかと思ったが教育方針や予算関係等の重たいものがあつたので、ここまでのところで質問等はあるか。 教育方針については色々ご指摘をいただきありがとうございます。最終的に市長にも目を通していただき、調整ができています。すでに議会に提出をしているので、内容変更はできないことになっているが、何かここは特段おかしいなどあればご指摘をいただければと思う。 予算関係についてたくさんあつたが、よろしいか。</p>
	<p>質疑応答</p>
藤本委員 石本教育長	<p>たくさんあるが言い出したらきりがないので控える。 今年も予算編成をする前に少しご意見を伺ってやるということで少し取組をしたが、そういったことは今後も事前に委員方にご意見を聞く中で予算編成をしていかななくてはいけないということは十分に事務局も承知しているので、今年の 10 月くらいのところでまた十分ご審議いただけたらと思っているのでよろしくお願ひしたい。</p>
各委員	<p>それでは予算関係はよろしいか。 特になし。</p>
岡田室長	<p>平成 28 年度島根県学力調査の概要について（資料 7） 平成 28 年度島根県学力調査の概要についてである。県の学力調査の目的だが、全国学力・学習状況調査等で明らかになった学習指導上の課題の改善状況を検証し、今後の教育施策の充実と学校における指導の一層の改善に資する、ということである。全国学力テストを受けて行ったことの PDCA サイクルを作るといふことで行っている。 調査日が平成 28 年 12 月 13 日（火）、14 日（水）に行った。</p>

実施対象学年及び実施教科等だが、小学校 3・4 年生が国語と算数、小学校 5・6 年生が国語・社会・算数・理科。中学校 1・2 年生が国語・社会・数学・理科・英語。全対象学年に「生活・学習意識に関する調査」を実施した。

用語説明として「平均正答率」各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合（％）を県または市町村単位で平均した値ということである。

島根県・浜田市全体の平均正答率の一覧を作っている。見ていただくと分かる様に、小 3 と小 5 が大変健闘したが、他の学年では県に及ばないところがたくさんあった。それから小 6 についてはその差がかなり開いていて、全国学力調査との比較をしようと思うと小 6 との比較になるわけだが、このところがあまり芳しくなかったという様になっている。

次に 2 ページ、意識調査との関わりの表である。成績の良かった小 5 も意識調査ではあまり良くない点もあるというところである。それから小 6、中 1、中 2 と出ているのでご覧いただきたい。

資料の最後のところが県との差比較だが、経年で見たグラフである。若干頑張っているのではないかと見たが、経年で見てみると 4 年生も下がっている傾向にあり、健闘している小 5 も昨年と比べると下がっているので、中々効果として表れてきていない。詳しいところの分析を今行っているので、またどこに課題があるのかということについても詳しく分析をしていきたいと考えている。

山根課長

平成 28 年度 人づくり・郷づくり交流会について（資料 8）

先ほど教育長日程にもあったが、平成 28 年度人づくり・郷づくり交流会についてである。

当日は委員方にもご出席いただきありがとうございました。参加者が 265 人ということで、このうち公民館関係者が 103 人、まちづくり関係者が 69 人、市の職員関係が 41 人、その他が 52 人の計 265 人とカウントしている。

内容については一部の実践発表ということで、市内の 4 公民館と 2 つのまちづくり推進委員会の実践発表を行っていただいた。アンケートも取り感想を聞いているが、この 6 つの事例発表はいずれも素晴らしいといった意見がたくさん出ていた。

2 部の公開座談会においても公民館とまちづくりについての

説明から始まり、それぞれの立場における内容、課題等の話を出していただいた。その結果を裏面中段のアンケートというところに抜粋しているが、今まで公民館がいわゆる貸館や生涯学習だけに使われているといったイメージがあったが、そういったところが変わったということを理解していただいた。それから地域の自治会、あるいはまちづくり関係と公民館が話し合いを十分に重ねていくということが必要であるという様なことも参加者に意識をしていただいたと思っている。

今後の対応としては教育委員会とまちづくり関係者で常に協議を重ねていくということ。それから公民館においてはいわゆるまちづくりを支援する公民館という方向にしたいと考えているので、それには具体的にどういったことを公民館ですればいいのかということを確認に表していきたいと思っている。

いずれにしても初めての一緒になった試みではあったが、非常に良い結果が出たと思っている。

「はまだっ子共育プロジェクト」現状と推進予定（資料9）

「はまだっ子共育プロジェクト」ということで以前リーフレットをお配りしていたが、こちらで3つの分野に分けて現在の状況と、今後も進めていくが、進めていくにあたっての内容等をまとめているのでまたご覧いただきご意見をいただければと思う。

石本教育長

それでは今日追加で配られた旭分室の資料の説明をお願いしたい。

栗栖分室長

冒頭教育長からもあった様に、2月6日に全国大会に出場するという報告を市長にさせていただいた。2月11日に全国大会があったので、結果報告である。最終的には準優勝、非常に競っての準優勝ということでかなり力を付けたと思っている。5番の対戦のところについて、準々決勝までは難なく勝ち上がってきたが、やはり準決勝、特に決勝では非常に競って、惜しくも準優勝となった。

当日は大雪だった様で、警報も出ており、開催するかどうか心配していたそうだが、やはり雪国ということで開催された。

石本教育長

今資料のあるところについて報告いただいた。資料のないところで報告等はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長	このところで委員方から質問等はあるか。
	質疑応答
金本委員	行事等予定表で3月31日の退職辞令交付式と教職員退職・辞職辞令交付式は何が違うのか。
佐々木課長	上については市の職員の交付式である。 出席いただくのは教職員退職・辞職辞令交付式である。
石本教育長	毎年お願いしているが、3月31日は教職員の退職・辞職辞令交付式とその後昼食会があるので、11時半から12時半過ぎには大体毎年終わるが、日程確保をお願いしたい。 卒業式の割り振りについてはまたこの後の会で確認する。 県の学力調査の報告で小6の国語と算数が県との平均の差が、全国の時はいくつだったか今分かるか。
岡田室長	全国の時は小6は国語がマイナス3.3、算数がマイナス3.1だった。県の学力調査では国語がマイナス3.8、算数がマイナス4.0ということで、開いてしまった。
石本教育長 岡田室長	これは学校間格差が大きいのか。 学校間格差も大きいと思う。ボリュームが大きいところが極端に悪いと1割を超えてしまうということがあるということと、県の学力調査の問題も思考判断というか、基礎基本も十分大事なのでやっていかなければいけないが、資料を活用したりとかいったこと、B問題の対応の様なことをもっと進めていかないと難しいところがあると思う。良いところは本当に良いが、やはりアクティブラーニングというところが教育方針にも入ったが、あの辺を教職員や学校の方々にきちんと意識をしてもらって教科横断的な取組を進めていくことが必要なのではないかと思う。
石本教育長	これを見ると小学校5年生は頑張っているし、中学校2年生も1年生に比べたら頑張っている。 その他はよろしいか。
各委員	特になし。

4 その他

小林係長 | 特になし。

次回定例会日程

定例会 3月27日(月) 13時30分から 浜田公民館第3研修室

15:08 終了